



姉妹都市へ行ってきました!

～中学生の作文特集～

平成27年度
中学生オレゴン市派遣事業

平成28年3月19日～26日
中学生1、2年生8名 引率者3名

姉妹都市 オレゴン市に行つて

阿部 玲己

私達は、アメリカ合衆国西海岸のオレゴン州に立科町の派遣事業として、ホームステイに行つて来ました。海外旅行どころか、立科町から出る機会すら少ない私にとって、初めての海外経験は、ホームステイという形で訪れました。

私は普段から人見知りの性格で、ホストファミリーの方達とコミュニケーションをしていくために私が幼少から学んだ英語が通じるか、ドキドキしていました。そして、ホストファミリーの方達と初めて対面した時、いきなり英語で話されたので、焦りと緊張で頭が真っ白になり、無言になってしまいました。しかし、ホストファミリーの方達はとても優しく、私の気持ちを感じとっていただいたのか、身ぶり手ぶりを交えたゆっくり英語で会話をしてくれました。私もジェスチャーを交え、ホストファミリーと楽しく会話する事が出来たと思います。

また、市内ツアーやバンクローバー皆国立史跡などに連れて行っていただきました。私がオレゴン市で一番印象深かった場所はマルトノマ滝です。高さ百八十九メートルから水が落ちてくる様子は立科町にない景色でした。

また、オレゴン市は周辺が美しい自然

に囲まれていて、歴史や文化がとても深く感じられ、立科町と共感できる事が今回のホームステイで分かりました。ホームステイをしたウェバー家の友人の子供達、シドニーとライリーにアメリカのゲームを教えてもらった事、日本では体験出来ないテレビゲームと一緒にやった事は私の楽しい思い出となっています。

オレゴン市に行つて日本とは異なる文化に触れる事が出来ました。今回のホームステイは、現在の私の英会話力を初めて確かめる貴重な体験でもあり、今後の私の人生においても、一生の宝になると思います。また、日本とは違う果てしなく雄大な大自然を自分の目で見た事で、私の海外への関心が広がったと思います。いつかアメリカ合衆国以外の国々へ行き色々な人達に出会いたいと思いました。

最後にこのような派遣事業に参加させていただき、ありがとうございました。この事業に関わっていただいた立科町の方々とホームステイ先の家族達には心から感謝しています。この思いを忘れずにこれからの学校生活に生かしていけるようにがんばります。

オレゴン市 派遣事業に参加して

井上 野恵

私は三月十九日に立科役場を出発し、

オレゴン市へ行きました。到着したポートランド空港では、すべてが英語でたがなんとか入国審査を終え、ホストファミリーの皆さんと対面しました。私はお父さん、お母さんと子供二人のカスタマーセナ家にお世話になりました。滞在中は娘のモニカと一緒に部屋でした。モニカの部屋には猫&ハリネズミ&蛇がいて、蛇にはびっくりりましたが、触るとプニプニしてかわいかったです。私はずっと猫のルビーちゃんと一緒に寝ていました。

その後ニッキーの誘いでビーチに行きました。午後のビーチはとても風が強くて寒かったのですが、とてもきれいでした。二日目は時差ほけで、十一時頃まで寝坊してしまいました。起きたらニッキーが軽食を作ってくれました。その後私が一番行きかけた動物園へ連れて行ってもらいました。

三日目は、二日ぶりに友達と再会し、シティホールや橋等の観光をしました。オレゴンでは市長が二年おきに変わり、ボランティアなので給料はないそうです。次に遊園地へ行き、昼食を食べ、遊びました。アメリカの食物は味が濃いのと思います。一日中観光で歩き疲れました。

四日目もみんな観光でした。バンクローバー皆国立史跡では、オレゴン州の歴史を学びました。夕方は、教会でパーティーでした。ホストファミリーを招待し、練習した「ソーラン節」を発表しました。緊張しましたがうまくできました。きつと喜んでくれたと思います。